

～ わいわい空間整備事業 ～

事業の目的

人のたまり空間。待ち合わせやイベントに利用できる空間として、ステージ、ベンチ植栽などを整備。

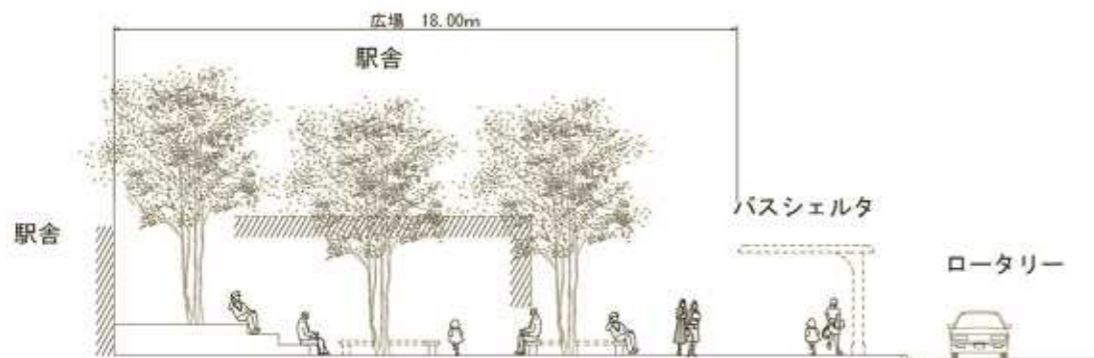
対象施設、場所等

ステージ、ベンチ、植栽

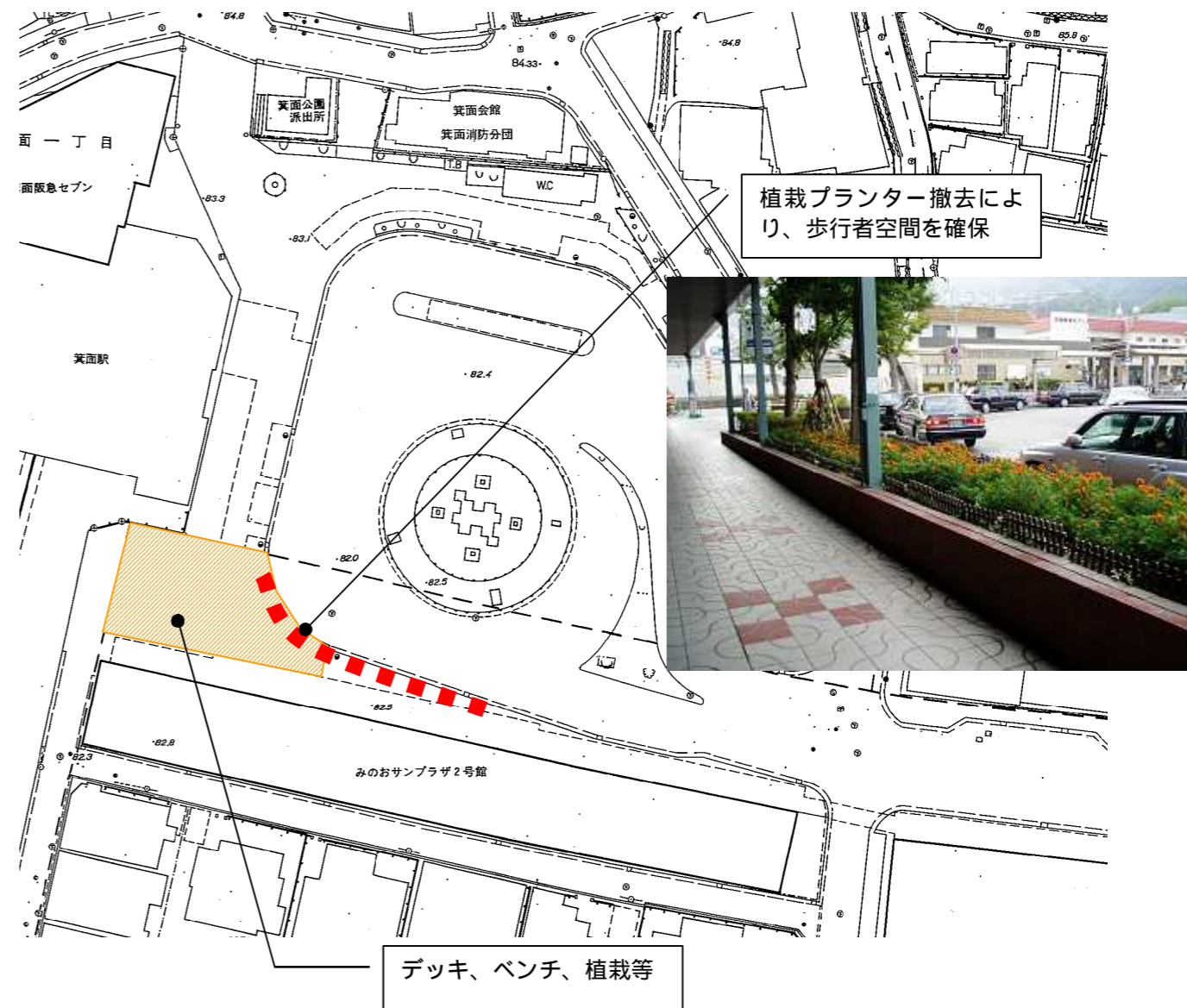
整備の課題と方針（案）

（箕面駅周辺整備のあり方について（箕面駅周辺整備計画）平成 19 年 7 月より）
 一時置き駐輪場（コイン駐輪場）を設置するなどの有効活用により、不法駐輪を解消できないか。
 広場をもっと活用できないか。イス・ベンチを増やしたり、木製テラスを設置したり、休憩所のようにならないか。木陰があるとよい。
 プランターを増やせないか。また、アダプト活動応援のため、散水栓を設置できないか。
 花は手入れがたいへんなので、常緑樹にして外周の景観を良くしたらどうか。プランターは不要ではないか。

駅前のオアシス、ランドマークとして憩いの場を確保する
 休憩機能を拡充する（ベンチの適正量確保など）
 ランドマークとなる豊かな緑量を確保し、樹林を形成する
 動線を十分に考慮した施設レイアウト
 溜まり空間、ベンチ、水場、電源（コンセント）などを設ける



位置図



整備の事例



木陰のある広場のイメージ（さいたま新都心ケヤキの広場）



ステージのイメージ（箕面市ピソラの広場）

整備のイメージ（案）

A 案（木々に囲まれたやすらぎ空間）



B 案（イベントに適した広々空間）

